※令和４年度以降入学生用

学校番号	3034

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	理数数学特論	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「NEXT　数学Ｃ」（数研出版）						
副教材等	システム数学 入試必修問題集 実戦 7th Edition［数学Ⅰ Ⅱ AB＋数学 C(ベクトル)］（啓林館） 「攻略！共通テスト PickUp 数学Ⅰ＋A, Ⅱ＋B＋C」（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、学習する内容を基本から発展まで、例題などを用いながら解説します。単に板書内容をノートに写すだけでなく、解説をよく聴き、考えながら授業を受けることを心掛けましょう。解説の後、いくつかの課題を与えます。それら課題に対して、自ら考え、周りの人と協働して考える活動を行います。考えを発表・議論することを通じて、論理的に説明をする力を磨きましょう。
・問題集用のノートを用意してください。問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。
・年度途中より大学入試問題演習を行いますので、事前に授業で扱う問題を予習すること。授業では自分の考えを発表し、添削指導を行います。各大学の個別入試に対応できる学力の定着を図ります。
・家庭学習においては、解決方法を習得するまで問題集や参考書の問題を繰り返し解き、最後まで諦めずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

学習した内容について，数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	数学 C における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。	数学 C における事象を数学的に考察し，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を身につけることができる。	数学 C における数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようしている。また，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数学C　4章　式と曲線	2次曲線 媒介変数表示と極座標	a:・放物線，楕円，双曲線が 2 次式で表されること及びそれらの 2 次曲線の基本的な性質について理解している。 ・曲線の媒介変数表示について理解している。 ・極座標の意味及び曲線が曲方程式で表されることについて理解している。 b:・放物線，楕円，双曲線を相互に関連付けて捉え，考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして，媒介変数表示や極座標の考えを問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴やほかの事象との関係を考察したりすることができる。 c:・事象を平面上の曲線の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしたりしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート	レポート

※令和４年度以降入学生用

2学期	関数	実戦 1. 分数関数･無理関数 2･合成関数･逆関数 3. 数列の極限 4. 無限級数 5. 関数の極限(1) 6. 関数の極限(2)	a・分数関数，無理関数について，その特徴を説明できる。数列や簡単な関数の極限を求めることができる。 ・いろいろな関数について逆関数や合成関数を求めることができる。 b・分数関数，無理関数のグラフをかくことができる。 ・数列・関数の極限を様々な角度から調べ，その関数について考察できる。 ・もとの関数と逆関数の関係を図形的に理解し，問題解決に活用できる。 c・分数関数，無理関数に関心をもち，その特徴を理解しようとする。 ・いろいろな数列・関数の極限について，関心をもち，調べようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート	レポート

※令和４年度以降入学生用

3学期	ベクトル	共通テスト 数学Ⅱ＋B+C　8章 ベクトル:練習問題 ベクトル:実践問題	a:　・平面上のベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，位置ベクトル，ベクトルの成分表示について理解している。　・ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解している。　・座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。 b:　・実数などの演算の法則と関連付けて，ベクトルの演算法則を考察することができる。　・ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて，平面図形や空間図形の性質を見いだしたり，多面的に考察したりすることができる。　・数量や図形及びそれらの関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用することができる。 c:　・事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。　・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度